

八丈島 水産だより 2月号

2013



アロエの花



春トビの初水揚げ！

八丈島の永郷地区にある公園では、アロエの赤い花が満開になっています。1月は、強い風で海が荒れて漁に出ることができない日が多かったので、漁師さんは大変でした。しかし、1月の終わりにになると春トビ（ハマトビウオ）が姿を見せ始めたので、風が弱くなった合間をぬって今年初めてのトビウオ漁船が出港し、春トビ（ハマトビウオ）が初水揚げされました。



ハマトビウオ

■ 八丈島に 春が来た！



春トビの島ずし

八丈島では春告魚と呼ばれる春トビ（ハマトビウオ）が春を知らせにやってきます。1月29日の初漁で、30日の朝には今年初めての春トビが水揚げされました。約3千7百尾と初漁にしては順調な出足でした。春トビは2月3日の節分の「島ずし」に欠かせない魚なので、島の人々は節分前になると「春トビはまだか。」と首を長くして待っています。春トビの初水揚げはあっという間に知れ渡り、島の人々に春を伝えます。

■ よる 夜のトビウオ漁

八丈島のトビウオはハマトビウオと呼ばれ、体の長さが50cm以上になる世界で一番大きなトビウオです。八丈島では、トビウオ漁を夕方から真夜中にかけて行います。夕方出港し、まず、島の近くでトビウオを探します。群れを見つけたらトビウオの通り道をさえぎるように長い網を海に垂らし、かかったトビウオを網ごと引き揚げます。



大きい！



網にかかった春トビを
みんなではずします。

東京都八丈支庁産業課 TEL. 04996-2-1113
<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/09hatijou/index.html>